



しあわせ祈願の宮
本莊神社発行 第16号
〒500-8369
岐阜市敷島町9-24
honjojinja-gifu.gifu-city.net

諸国一宮
史跡と味めぐりの旅
本莊神社宮司 今津 隆弘

昨今、神社寺院の御朱印収集の方が増え、書店でも御朱印を特集した本、或いは様々なデザインの御朱印帳が販売されています。

当神社に於いても、平成二十七年から「御朱印」を作って、ご希望者への対応をさせていただいておりますが、皆さん思いの御朱印帳をお持ちになり、それぞれに思いの詰まった御朱印帳に関心を持って受付けしております。

私自身は、前にも書きましたが諸国一宮巡りの御朱印帳を持ち年数回、一宮へ出かけ、地域の歴史探訪や、名物に舌鼓を打ち、旅を愉しんでおります。今年は、山陰地方へ出かけようと計画したもののコロナ禍で、宿泊を伴う外出は躊躇い、なかなか一歩が踏み出せません。

一宮とは、地域を代表する古社を云い、平安時代に定められ、国司が都から着任すると、一宮、二宮、三宮を巡拝する習わしがありました。一宮、二宮とは、神社の格式や歴史の深さを表します。



美濃国一宮 南宮大社

美濃国の一宮は、南宮大社不破郡垂井町)、二宮は伊富岐神社不破郡垂井町)、三宮は伊奈波神社(岐阜市伊奈波通)です。
飛騨国一宮は水無神社(高山市一之宮町)、二宮は久津八幡宮(下呂市上呂)です。



飛騨国一宮 水無神社

一宮は、国府所在地近郊の有力神社が多く、全国六十六ヶ国九十九ヶ社あり、時代の変遷に伴う神社の盛衰等より、一宮が入れ替わり、一宮に二社以上存在する国があり、神社側も自社の由緒正しい歴史を誇り、一宮と称したため国の数より多くなりました。

全国の中で、一宮が最も多いのが越中国(富山県)で、一宮が四社あります。こうした国による違いも参拝する楽しみの一つです。「一宮御朱印帳」は、一宮と称される神社で授与しています。「一宮朱印帳」には予め、該当神社のページが指定されて、地域順に巡拝出来るよう

なっています。また、地域ごとに神社の所在地、連絡先などが掲載された地図も付録し、たいへんわかりやすいものです。私は、身近な東海地区や北陸、近畿地区から始めて、現在九十九ヶ所中、六十四社をお参りし、ようやく三分の二を超えたところです。

私が一宮巡りを思い立ったきっかけは、奉職した神社が一宮だったことです。大学を卒業して奉職したのが、大和国一宮の三輪明神(大御神)神社で、ここで七年間過(こ)し、大学院へ進学しました。郷里に帰るきっかけとなったのが、大学院を修了する際、恩師の先生の勧めで美濃国一宮南宮大社へ奉職したことでした。

南宮大社奉職時、全国一宮巡拝会が「一宮朱印帳」を作り、全国の一宮の社頭で授与することとなりました。自分でも各地を旅行する目的として一宮巡りを始めました。土地土地の歴史や、風物を肌で感じ、名物に舌鼓を打ち、名湯や名所旧跡を訪ね歩くほか、古社、古刹を訪ねると、その地域の文化を堪能できます。

頂いた御朱印を眺めると、旅の思い出がよみがえります。



一宮巡りの御朱印帳は、「一宮巡拝会」のホームページからでも購入できます。また、一宮のガイドブックは、書店でも様々な解説書が販売されていて気軽に購入できます。

今は、コロナ禍で、なかなか遠出は難しいかもしれませんが、せっかく旅をするのなら、旅の記念に、御朱印帳を持って、その地域の由緒深い神社を訪ね、地域の歴史や文化を概観し、ただ単に御朱印を集めるのではなく、神社巡りが目的となり、すべて廻ると達成感が得られます。お遍路さんが西国八十八ヶ所巡りを行うように、お参りすると云う、精神的なひとみを加える事で、旅そのものを充実したもの出来るのではないのでしょうか。

**本莊神社に
見守り隊が誕生**
責任役員 浅野 晃一郎

私は、平成十三年の四月から本莊神社責任役員の代表を引き受けました。昭和六十年から、総代・責任役員の経験がありますが、歴史ある神社の代表としてどう進めていくものなのか、見通しがつきませんでした。

最初に考えたことは、「年間行事を見直し、本莊神社に参拝者を増やしたい、資金づくりをしたい」この三本柱に取り組みことにこだわりました。

その結果、本莊神社の環境は大きく変わってきました。

大きく言って「毎日幅広い参拝者が終日来て下さる。本莊神社の社頭が美しくなると褒めて下さる。毎日、誰かが本莊神社を掃除して下さる。」等の変化が生まれました。

なかでも、最後の掃除をして下さる有難い方々に感謝したいと思います。関係者にお話しすると、「本莊神社が自分の身体と一体になっているからできるのではないかと

のこと。

学校の登下校の見守り隊は良く聞くものの、神社の見守り隊とは聞きません。わが本莊神社では、参拝に来て、落ち葉がある、ゴミがある、側溝が汚い等、気づかれた方が自主的に掃除して下さい。その結果、「美しい本莊神社」になっているのです。ありがたい・ありがたいと感謝に堪えません。

その見守り活動をして下さる方々は、元総代の方、現在の総代の方、本莊神社を支えて下さる各組織の方(保存会、敬神婦人会、ボランティア体、花壇委員会、合唱隊等)の協力を依って出来ています。この方々を私は「本莊神社見守り隊」と命名しました。この無形の奉仕活動が更に続くことを願っております。さて、最初の願いは今どんな様子かまとめてみました。

その1、年間行事の見直し

受け継ぐ前まで、年間行事が点々として進めていました。中でも四月の春の例大祭の後、九月の奉幣祭と間があくことが気になっていました。

平成十八年に新しく今津宮司を

お迎えして、下見検討をして、「夏祭り」を七月の最初の土曜日に行くことに決定しました。

どこにも手本がなく、手探りの状態で平成二十年七月七日に第一回を実施、最初の夏祭り「茅の輪くぐり」を取り入れ、土台づくり、茅の輪の材料集め、茅の輪を完成し、茅の輪くぐりを八の字を書くようにくぐることに、人形の記入等、なれない手順を学びました。

また、楽しい企画が必要と考え、地元の方々と模擬店を出してはどうかと提案して、賛同者で「焼きそば、鮎の塩焼き、野菜の即売、不要品バザー、和菓子、たこ焼き、子どものゲームコーナー等」を分担して夕方から販売しました。

その夏祭りが今年、十三回目を迎えました。今年が新型コロナウイルスの關係で「茅の輪くぐり」の神事のみ行いました。

通年でしたら、子どもたちの巫女舞の奉納や、本莊神社合唱隊、うずら太鼓の披露など様々な奉納行事でお参りの方々に楽しんでもらっております。

その2、参拝者を増やしたい

先の夏祭りを開催することにより、年中行事の中で最高の人を集める事に成功しました。まだ改善点が多々あります。今後更にレベルアップしていきたいと思えます。

また、平成二十三年の新嘗祭の直会の席で、本莊神社が「南北の白山・伊勢二つの神社の交点に立地している」ことが、いちだくりニック院長の市田正成先生から報告があり、平成二十四年の新年には、「東西の富士山・出雲との交点であることが確認」され、そのことを記念して「しあわせ祈願の宮」を建立することができました。

この発見を報道機関に披露して、新聞記事等で発表して以来、本莊神社ホームページでのお知らせも相俟って、全国から本莊神社への参拝者が増えました。

その3、資金づくりがしたい

以上の試みの中からおわかりのように、「夏祭り」の開催、「しあわせ祈願の宮」建立により、夏祭りの奉賛者、バザーの収入(材料費のみ支払い)、その他の収益は神社に奉納されるや人形料やお賽銭により神

社の社人が増えました。

また、本莊神社の戦前の参道が東海道線によって分断されたため、元参道だった土地があり、近隣の会社の駐車場用地に利用してもらい、借地料を頂いています。

固定資産税が掛かりますが、その残金を神社収入として有効利用しております。

本莊神社では、従来の御札のほか、平成十八年以降、様々な御守、御朱印をお正月に社頭で授与し、お参りの方々のお賽銭と共に大切な資金づくりとなっています。

令和元年からは、社務所に御札所を開設し、週末ごとに宮司さんが従事して下さいしております。

平成十三年四月に、責任役員代表を引き継いだ時から比ますと、皆さんの総力により大きく変貌を遂げたことを実感致します。

今後も更なる神社の充実・発展を祈念し、役員の実務を果たして参りたいと考えておりますので、ご協力をお願い申し上げます。



大リーガーダルビッシュ有
投手はなぜここまで成長
できたのか…
いちだクリニック 市田 正成

コロナ禍において、日常生活が大きく変わる中、親子関係や師弟関係・友人関係等、人との関わり方でストレスを抱えておられる方が多くなりました。

そんな中、今回は誰もがよくご存じの大リーグシカゴカブスのダルビッシュ有投手の成長過程を振り返ってみたいと思います。今季はすでに七勝をあげ絶好調で、このままいけば米野球界で最も優秀な投手に贈られるサイヤング賞を日本人として初受賞する可能性が高まりつつあります。

ここまで彼が到達するのには、必ずしも順風満帆とはいかず、紆余曲折長い道程がありました。大阪生まれの野球少年は、四〇校以上の高校からスカウトされるも、個性尊重を教育理念とし、伸び伸びとプレーできる東北高校へと進みました。留学経験を持ち、国際色豊かな両親に育てられた彼は、学生時代か

ら統一された練習メニューを嫌い、仲間とは別の練習メニューを自分で考え実行していたことは有名な話ですね。

高校二年の夏の甲子園では準優勝、三年春の甲子園ではノーヒットノーランを達成する等、輝かしい実績を残しつつも、プライベートでは喫煙問題や娯楽施設への出入り等、自由奔放な姿がニュースで報じられました。最近の風潮として、いくら才能があり実績があったとしても、ひとたび問題行動を起こしてしまうと、マスコミに叩かれ、インターネットですぐに拡散し、表舞台から消されてしまう…そんなケースも多々あります。

ダルビッシュ投手が恵まれていた、と思えることは、一つには良き指導者との出会いです。「ボーイズリーグ時代から、不必要に投球ホームを改善されたり、乱暴に上から押さえつけられるような指導は一度も受けてこなかった…特に東北高校時代の若生正広監督は、自主性を許容し自分を理解し守ってくれた、あの監督じゃなければ野球は続けていかなかったと思う、つまり今の自

分はいなかった、感謝しています」と自ら語っています。

日本ハムファイターズへドラフト一位指名で入団してからも、直後にパチスロ事件を起こし、ダルビッシュ投手本人はこれで全てが終わったと思つたそうです。この時、球団・学校関係者が協議し、彼の将来性の芽を摘むことのないよう、無期限の謹慎・停学処分に加え、社会貢献活動を命じました。当時、日ハムの対応について、マスコミでは色々と言われていますが、現在ダルビッシュ投手が日本のみならず、海外においても様々な社会貢献活動に取り組む姿勢は、この日ハムでの「再教育プログラム」が根底にあるからだと言われています。この「再教育プログラム」がいかに素晴らしい内容であったかは、後の本人のブログを見てもよく分かります。「当時、迷惑を掛けてしまった皆様、本当に申し訳ありませんでした。皆様の大きな優しい心と対応が今の自分を作りに上げたと思っています」こんな言葉で綴られています。

異端児、と言われていた彼にとって、社会人として最初に入団したのが日ハムで本当に良かったと思えました。彼の子供時代にまで遡ると、なぜ彼が個性的なのかと言うことが見えてくる出来事がいくつかあります。その一つが、いじめ問題です。

ひと目でハーフと分かる容姿から「タムタム菌」とあだ名をつけられ、鬼ごっこはいつも永遠鬼をやらされていたそうです。経済的には裕福な家庭に育ったのですが、他の有名な野球選手との大きな違いは、両親共に仕事で忙しく、さほど野球熱心ではなかったことです。おばあちゃん子として育ったダルビッシュ投手のそんな淋しかった思いを汲んでなのか、ダルビッシュママの郁代さんは、二〇一八年から大阪府羽曳野市に「心を育むことも食堂をボランティア活動としてオープンされました。地域の子供達に安心できる居場所を提供し、皆で食卓を囲むことで人の温かさを感じ取ってもらいたい」とNPO法人ウィンウィンの代表も務めておられます。

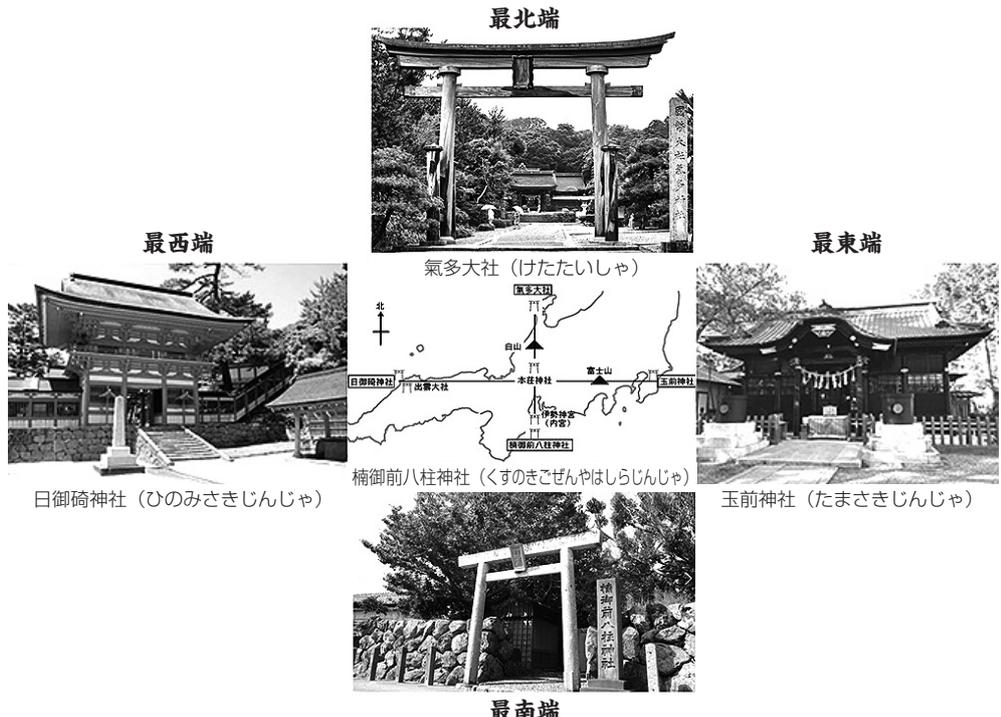
やや話しがそれてしまいました。が、今年の彼の成長ぶりには目を見張るものがあります。今まであまり人に教えるを請うことを望まなかった彼が、チームメイトのキールヘンドリックス投手に「ナックルカーブ」の投げ方を教えてもらったと言います。チームメイトと上手く親交ができているからこそ実現したのでしょう。今のダルビッシュ投手の周りには、彼の家族も含め沢山の大きな温かい心を持った人達がいることでしょう。いつの時も、彼を覚醒させる鍵は、厳しく叱ることではなく、温かく見守ることのようです。

コロナ禍で、子供さんと過ごす時間が増え、ついつい叱ることが多くなってしまうこともあるかと思いますが、寛容の精神で受け止めてあげて下さい。コロナに負けず、地域の子供達をたくましく育てていきましょう！



「人集う夏の祭りの有難さ」でしよ
うか？

「しあわせ祈願の宮」のルーツ
を訪ねて その2
本莊神社保存会 和田 浅治



「しあわせ祈願の宮」のルーツを
訪ねての第二回目を投稿させてい
ただきました。

前回は、本莊神社の最も東にあ
る、千葉県の玉前神社と最も西にあ
る日御碕神社をご紹介します。

ところで、人間というものは、不
思議な動物で、東と西の端を参拝す
ると次はやはり、南と北の端はどう
なっているのか？と気になるもの
です。

そこで、ネットで詳細に調べまし
たら、北の白山の先、北の端は石川
県の羽咋市にある氣多大社で、南の
端つまり伊勢神宮(内宮)の南には、
三重県志摩市浜島町にある楠御前
八柱神社が、それぞれ最北端、最南
端であることが分かりましたので、
さっそく日と見て参拝して参りま
したので、今回ご紹介いたします。

まず、令和二年五月下旬頃に、北
の端にある石川県羽咋市にある氣
多大社を参拝させていただきました。
岐阜市から車を使って東海北
陸自動車道経由で約三時間で氣多
大社に到着しました。

氣多大社は、能登国の一宮で、旧
社格は国幣大社で、現在は神社本

庁に属さない単立神社だそうです。
旧称は「氣多大神宮」というそうで
す。

氣多大社は、能登半島の付け根、
羽咋市北方に日本海に面して鎮座
しています。ご祭神は大己貴命で
出雲から舟で能登に入り、国土を開
拓したのち守護神としてこの地に
鎮まったとされています。古くか
ら北陸の大社として知られ、中世
近世には歴代の領主からも手厚い
保護を受けたそうです。現在は本
殿など五棟の社殿が国の重要文化
財に指定されていて、国の天然記念
物の社叢「入らずの森」で知られて
います。

主要社殿のうち、本殿は江戸時代
の天明七年(一七八七)に建立。拝殿
は、江戸時代の承応二年(一六五三)
または承応三年(一六五四)に造営
とされています。神門は、安土桃
山時代(社伝によれば天正十二年
(一五八四)の造営。これら三種はい
ずれも国の重要文化財に指定され
ています。

「入らずの森」は、境内裏手にあり、
まわりは原生林の杜が広がってい
ます。神門の内は神域「入らずの森」

として、大晦日の例祭を斎行する宮
司ら神職以外は立ち入りは禁止さ
れています。わたくしたちは、その
入り口にある遥拜所で参拝させて
いただきました。

さすがは能登の一宮というだけ
あり、境内はとも大きく入り口の鳥
居もとても大きく荘厳な感がある
神社でした。

次に、最南端に位置する楠御前八
柱神社に、参拝して参りましたので
ご紹介させていただきます。令和
二年六月上旬に、伊勢神宮(外宮内
宮)を参拝させていただいた後に、
三重県志摩市浜島町にある楠御前
八柱神社を参拝させていただきました。

この神社は、国道二六〇号線から
奥まったところにあるので、見つけ
るのに少し苦労しました。

楠御前八柱神社は、別名楠の宮
という。

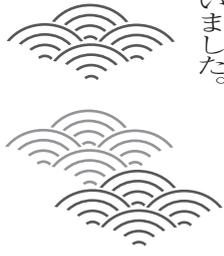
ご祭神は、伊邪那岐命・伊邪那美
命・久須姫命(天照大神の裔王)です。
この神社は、この地の漁民らが命の
恩顧に報るため御墓を築き楠樹を
植え、楠大明神と称して祀ったとさ
せています。延名長寿、海上安全、

大漁満足の守護神として古くから崇敬されているそうです。祭日は、旧暦一月二十二日で、地元では「桶の宮さん」と呼ばれて親しまれているそうです。

わたくしたちは、参拝させていただいた際に、この宮司さんと偶然出会い、宮司さんは、今でも伊勢神宮にご奉公されている方でした。岐阜市の本莊神社が、ほぼ同じ経度上にあることをお話しすると、宮司様は、不思議なご縁に感じしておられました。

私の印象は、大変静かな神社で、地域の特に漁業を営む皆さんの大切な神社さんだということを感じました。

これで、私は、本莊神社の「しあわせ祈願の宮」のルーツ(但し、私が勝手にそう思っている)をおかげさまで東西南北参拝させていただき、大変気持ちの良い参拝の旅でした。みなさん、ご覧いただき有難うございました。



《御朱印対応について》

ご希望の方は、土曜・日曜・祝祭日に神札御守授与所までお越し下さい。



御朱印料は、各三〇〇円です。

《祭典日限定御朱印授与》

ご希望の方は、左記の祭典日にお受け下さい。

<p>1月1日-3日 初詣 【御朱印】</p>	<p>1月14日 左義長神事 【御朱印】</p>	<p>2月17日 祈年祭 【御朱印】</p>	<p>4月4-5日 例祭 【御朱印】</p>	<p>7月第1土曜日 夏祭り 【御朱印】</p>
<p>【祭典日限定御朱印】 上記の日に授与する「書き置き」の御朱印です。 初穂料 300円</p>				
<p>9月第1土曜日 奉納祭 【御朱印】</p>	<p>11月23日 新嘗祭 【御朱印】</p>	<p>毎月第1土曜日 月次祭 【御朱印】</p>	<p>※日、「奉納祭」とお申し出下さい。</p>	

御朱印料は、各三〇〇円です。

《月次祭・限定御守について》



月次祭限定・桐箱入り「結縁守」

当社では、月次祭に神前に供え祈願した特別な「結縁守」を当日の午前中のみ限定で授与しております。御祭神・素盞鳴尊は縁結びの神様として良く知られ、また本莊神社の四方の神々とのご縁を結び、しあわせを祈る御守です。

初穂料金一、〇〇〇也
月次祭当日、社務所で授与致しますのでお願い致します。

社務所ニュース

神社の北西の角に設置の「御朱印案内幟」看板が新しくなりました。坂根建具店の坂根好久さんの労作

です。設置には、田口勝さん・植田直樹さんにお世話になりました。御朱印案内の幟が破けていると気にしておられ、早速看板形式で作りを直しをして頂いたところ、出来るのを待ち受けて設置して頂きました。まさに「見守り隊」ですね、ありがとうございました。



行事・お知らせ

- 十月以降の行事
- 月次祭毎月第一土曜日 午前十時斎行
- 祭典後、「学べる神社講座」
- 恒例祭典
- ・新嘗祭 十一月二十三日午前十時
- ・神宮大麻・本莊神符頒布祭
- 新嘗祭に併せて斎行



- ・十二月三十一日から正月三ヶ日まで、授与所開所
- ・歳旦祭 一月一日午前十時
- 祭典後、四方拝実施
- ・左義長神事 一月十四日正午
- 注連縄つくり勉強会 一般の方を対象とします。
- 十一月二十九日
- 七五三祈禱 十一月土日祝日、予約受付中
- お子様一人三千円
- 千歳飴・御守・グリコ菓子等 授与致します。
- 一件ずつ丁寧に祈禱します